この夏を乗りきる！

今年の夏は、電力不足の回避と暑さを乗り切るために、「省エネ」への関心が高まっている方も多いと思います。その関心をこの夏だけにとどめず、温暖化防止に向けた持続的な「省エネ」行動として推進するきっかけにしていきませんか。

ここでは、家庭でできる「省エネ」に向けたさまざまな取り組みを紹介するほか、暑い夏を無理なく快適に過ごすための睡眠や食事のとり方のポイントなどをご紹介いたします。

温暖化データ

脱温暖化センターひろしま

過去100年に日本の平均気温1.1℃上昇

CO_2排出量の8％が家庭から

産業革命以降、石炭や石油など化石燃料を大量に消費したため、大気中の二酸化炭素濃度が増加し、地球の気温が上昇する「地球温暖化」が問題となっています。世界の平均気温は、平成十七年までの過去百年間で〇・七四度上昇し、日本では一・一一度、広島市でも二・〇度上昇しました。また、県内各地で最高気温と最低気温ともに上昇しており、熱帯夜（一日の最低気温が二十五度以上）や猛暑日（一日の最高気温が三十五度以上）の増加により熱中症患者が増加している一方、冬日（一日の最低気温が〇度未満）の日数が減少しています。その他、サクラの開花日の早まりやイロハカエデの紅葉日の遅れ、海水温と海面水位の上昇、米や果物の品質低下と収量の減少など、温暖化によるさまざまな被害が報告されています。

このような温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量は、広島県では平成十九年度には五千九百二十六万トンであり、そのうち八％が〝家庭〟から排出されています（**図一参照**）。

また、〝家庭〟から排出される二酸化炭素排出量のうち、約八十％を「電力」が占め（出典：第二次広島県地球温暖化防止地域計画　平成二十三年三月より）、特に、エアコン・冷蔵庫・照明器具・テレビは、これらだけで家庭の消費電力の約七十％を占めます（出典：資源エネルギー庁　平成十六年度電力需給の概要より）（**図二参照**）。

つまり、家庭の中で「省エネ」に取り組むことは、二酸化炭素排出量の削減につながり、温暖化防止にもつながるのです。

図1
部門別二酸化炭素排出量（平成19年度）
資料：広島県環境政策課

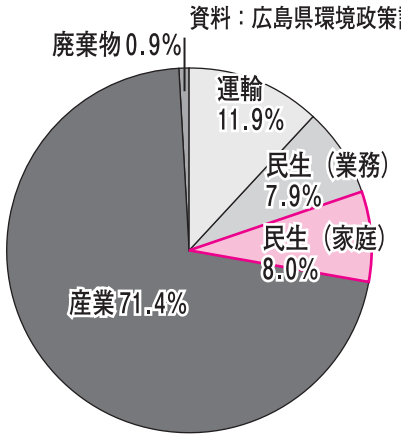
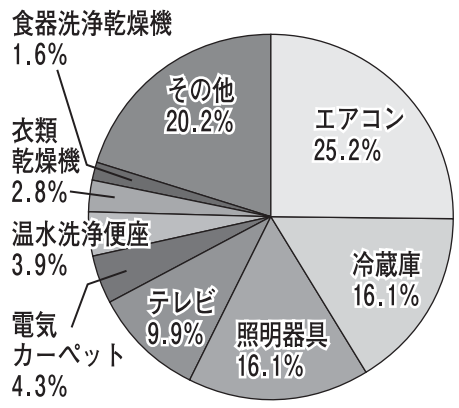


図2
家庭における消費電力量ウエイトの比較
出典：資源エネルギー庁平成16年度電力需給の概要



省エネ取り組み

脱温暖化センターひろしま

エアコン・冷蔵庫・テレビ・照明で7割

ワンポイント工夫を紹介

家庭での「省エネ」の取り組みは、温暖化の防止につながるだけでなく、節約にもつながります。そこで、家庭の消費電力の約七割を占める「エアコン」「冷蔵庫」「テレビ」「照明器具」を中心に、ワンポイント工夫で更なる省エネ効果が期待できる取り組みについて紹介します。

◆　◆

～緑のカーテンやすだれを活用しよう！～

日の当たる窓辺にツル植物などをカーテンのようにして育てる「緑のカーテン」は、太陽の光を遮るだけでなく、葉の蒸散による気化熱を利用して、建築物の温度上昇を抑える効果があります。

ただし、「緑のカーテン」は四月頃から栽培の準備を始めなければなりませんので、今からの取り組みなら、ホームセンターなどで購入できる「よしず」や「すだれ」を設置したり、窓に断熱シートを貼るのも効果的です。

～打ち水をしよう！～

お風呂の残り湯や雨水を利用して、玄関先や庭などの屋外に水をまく「打ち水」をすれば、地面の熱を下げ室内に入ってくる風を涼しくしてくれます。「打ち水」をする時間は、気温の高い昼よりも、早朝や夕方のほうが効果は大です。

地球温暖化対策地域協議会の「脱温暖化ネットおんど」では、七月～九月の第二日曜日の夕方五時に、町内一斉に「打ち水」を実施し、その後二時間は冷房器具の使用を控えるよう呼び掛ける運動を実施しています。

呉市音戸地区で開催された打ち水イベント

～冷蔵庫にはカーテンを取り付けよう！～

冷蔵庫内に簡易カーテンを取り付けることで、扉の開け閉めの際に外へ出る冷気を抑えることができ、庫内の温度が一定に保て、無駄な電気の使用を控えることができます。

カーテンは、市販されているものもありますが、ポリエチレン製の袋やゴミ袋を冷蔵庫の大きさに切り、扉の内側の上部に貼り付けるだけで十分効果があります。

～冷蔵庫は詰め込みすぎない！冷凍庫はぴっちり詰める！～

「冷蔵庫」は、ものを詰め込みすぎると庫内の温度が上昇し冷気の循環が悪くなり、余分なエネルギーが必要となります。七割程度を目安にしましょう。

一方「冷凍庫」は、凍ったもの同士がお互いに冷やしあうことによって、中の温度が上がりにくくなります。そのため、たくさん詰めた方が省エネになります。一度、冷蔵庫と冷凍庫を確認してみましょう。

～保冷剤や氷を有効活用しよう～

冷凍庫の中で眠っていることが多い保冷剤も、タオルやハンカチに包んで首に巻けば、体感温度が下がり、立派な〝涼〟グッズとなります。また、凍らしたペットボトルや氷を入れたボールを扇風機の前に置いておくだけでも、冷風に変わります。

～旬の野菜を食べよう！～

旬の夏野菜である、キュウリやトマト、スイカ、オクラなどは、身体を冷やす効果があります。また、旬のものを食べるということは、旬以外の時期にハウス栽培された野菜と比較して、栽培するのに必要なエネルギーが格段に少なくてすみます。普段の食事に旬の野菜を取り入れることは、体の中から涼しくなる上に、省エネにもつながります。

職場環境は快適ですか？

作業環境測定業務【ホルムアルデヒド編】

特定化学物質障害予防規則が改正され、平成21年3月から医療機関などで使用されているホルムアルデヒド（ホルマリン）について、作業環境測定を行う必要があります。
当会は、広島県の登録機関として作業環境測定を行っております。
お気軽にお問い合わせください。

○問合せ先○　〒730-8631　広島市中区広瀬北町９－１
（財）広島県環境保健協会　環境生活センター　環境調査課
TEL：082（293）1511（大代表）　FAX：082（293）5049　ＵＲＬ：http://www.kanhokyo.or.jp/